

(様式第4号)

上田市消防委員会 会議概要

1 審議会名	上田市消防委員会
2 日時	平成29年2月8日 午後1時30分から午後2時50分まで
3 会場	消防本部庁舎 3階 大会議室
4 出席者	岡田会長、青木副会長、伊藤委員、久保田委員、滝沢委員、龍野委員、戸兵委員 西澤委員、西村委員、和田委員
5 市側出席者	長谷川消防部長、清水消防総務課長、松井中央消防課長、越消防警防課長、 堀池消防予防課長、丸山南部消防課長、宮島東北消防課長、石井川西消防課長、 手塚丸子消防課長、柳沢真田消防課長、宮澤危機管理防災課長、 依田武石自治センター次長、松崎消防総務担当係長、齊藤消防総務担当係長 矢島消防団長
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成28年2月9日

協議事項等

1 開 会 (齊藤消防総務担当係長)

2 あいさつ (岡田会長)

3 議事 (進行 岡田会長)

(1) 平成28年度事業報告について

ア 上田市消防団 (矢島消防団長)

平成28年度上田市消防団事業報告 (資料1)

平成29年度上田市消防団事業計画

イ 消防団施設の整備及び車両等の更新 (清水消防総務課長)

平成28年度上田市消防関係事業報告 (資料2)

平成29年度事業計画(予定)

ウ 自主防災組織 (宮澤危機管理防災課長)

自主防災組織に係る事業の取組状況について (資料3)

(委員) 車両の更新について、来年度以降、以前の計画で決まっていることができなくなるのか。

(事務局) 平成29年度の配備計画は、消防団車両9台の要求をして、実施計画(3年先までの計画)では了解を得ていたが、平成29年度の予算に関しては、7台しか認められなかった。消防部としては、車両は20年、小型ポンプは10年で更新の時期をみて、多少前後しながら要求をしてきた。今年は9台の予定でいたが、29年度予算編成において、一般財源が少なくなってきたこと、他から持ってこれる財源も以前に比べて厳しくなっていることから、結果として9台が7台しか認められなく、翌年度以降に他の車両の更新と合わせながら計画の見直しをしていかななくてはならなかった。

(委員) 団員のモチベーションも変わってしまうことがあるので、計画通りお願いしたい。

(委員) 今年度は何回か避難準備情報が出されたが、地元で何もできなかった。自治会長に聞いたら「避難してくる人がいるかもしれないから、公会堂を開けてくれ。」という依頼であった。実際、消防団を含め避難準備情報が出た時にどうすればよいのかということが周知できていないと思われるので、ご指導をお願いしたい。

(事務局) 昨年8月と9月に上田市内に降りました大雨に対し、上田市として初めての避難準

備情報を出した。年末には、避難準備情報が分かりづらいということで、「避難準備高齢者等避難開始」と名称が変わった。土砂災害が発生しやすくなっていると、県を通して情報が来て、250mメッシュで災害危険が迫っていると特定した中で、各地区に避難準備情報を出した。上田市としても初めてでしたので、改めて研修会等を開催し、徹底を図っていききたい。避難準備情報を出した時、自治会だけではなく、消防の方も戸惑ったと聞いているので、消防団とも話をさせていただいた中で、対応を図っていききたい。

(2) 上田市の火災及び救急救助の状況について

ア 平成28年上田市の火災概要 (堀池消防予防課長)

平成28年上田市の火災概要 (資料4)

(委員) 死者数が、去年は4人。27年は1人であるが、死者の年齢を教えてください。また、どうして亡くなったのか?

(事務局) 昨年1月に、菅平地区の住宅火災により、ご高齢のご夫婦が2人。4月に1名が自損により、油をかぶって火を付けた。もう1人は暮れに傍陽の住宅火災で高齢の方が亡くなっている。いずれの方も65歳以上の方となっている。

イ 平成28年救急・救助業務の実施状況 (越消防警防課長)

平成28年救急・救助業務の実施状況 (資料5)

(3) その他

なし

4 その他

平成25年1月の消防委員会答申の附帯意見に関する経過説明 (長谷川消防部長)

平成25年1月の消防委員会答申の附帯意見に関する中間報告 (清水消防総務課長)(資料6)

(委員) 学生団員は何歳からで、何人いるのか?

(事務局) 18歳以上が対象で、大学生、専門学生がこれに該当する。現在5人いる。

(委員) 女性の団員は何人いるのか?

(事務局) 団員実数2170人中、82人です。

(委員) 青木村では女性団員が増えていると新聞で報道されていた。女性の登用をしていただくと男性団員も活躍できるのではないかと考えるが、よい策はあるか?

(事務局) 女性について検討している。現在80数名の女性団員がいる。ここ数年で「倍增計画を立てていきましょう」という話をしてある。今週末も、女性団員の研修会があり、認知症について研修を行う。この研修は、「子供さんを連れてきてもいいよ」というように簡単に参加できるような格式ばった研修会ではなくこのような研修会を増やしていこうとしている。

各分団に1~数人の女性団員がいる。1人の方は活動がしやすくないことがあるので、地域地域や、方面隊ごとの横のつながりを作っているところである。

女性を増やすためにどうするか? 女性が女性に声をかける作戦で展開している。今までの分団は男性が女性に声をかけていたが、女性に声を变えていただくことをやろうとしている。

女性団員の車、ペナテス号が更新されて、オートマチックの軽1BOX車になったので、この車を活用して市内の広報をしていきたいと思います。まだまだ女性は少ないので、地域の皆様の御協力をいただきたい。

5 閉会 (齊藤消防総務担当係長)